



公共工事等における新技術活用システム
事後評価結果通知書

国部整施企第 130-3 号

平成 29 年 1 月 18 日

株式会社 道路計画
代表取締役 土井 正治 殿

国土交通省
中部地方整備局長 塚原 浩



平成 22 年 10 月 1 日付をもって申請のありました技術について、新技術活用評価会議における評価の結果を様式 V-5 のとおり通知します。なお、評価結果については NETIS に掲載します。

記

1. 技術名称：ビューポール
2. NETIS 登録番号：KT - 100047 - A
3. 評価結果：様式 V-5 のとおり
4. 継続調査等の必要性について：継続調査等を必要としない
5. その他：この結果に基づき、当該技術の NETIS 登録番号・情報種別記号は「-VE」に変更され、掲載期限が当初に NETIS 登録した翌年度の 4 月 1 日から起算して 10 年を経過した日まで延長されます。
また、今後の活用効果調査、事後評価は実施されません

異議申し立てについて

上記について異議がある場合は、事後評価結果を通知した日の翌日から起算して 10 日以内に整備局長あてに異議理由を明示した書面を提出することにより、異議申し立てを行うことができます。

(提出先)

国土交通省中部地方整備局
新技術活用評価会議事務局

活用効果評価結果

平成28年度

中部地方整備局 / 新技術活用評価会議

NETIS 情報	開発目標	経済性の向上、安全性の向上、周辺環境への影響抑制																								
	新技術登録番号	KT-100047-A	区分	システム	有用な技術の位置づけ	活用促進技術																				
	分類	ITS関連技術 - 交通管理の最適化																								
	新技術名	ビューポール																								
	比較する従来技術(従来工法)	高所へのカメラ設置による撮影																								
	新技術の概要及び特徴	本技術は、高所からのビデオ撮影を可搬式・全天候型の装置で行う技術です。従来は高所へのカメラ設置による撮影に対応していません。本技術の活用により機材設置・アングル調整をすべて地上で行うことができるため、効率的で安全かつ低コストな高所撮影ができます。																								
活用効果評価	所見	【優れていた所】 ・地上作業のみで設置・撤去作業が行えるため高所作業が無くなった。また、乾電池で動作するため、電源の用意が不要となり、安全性の向上及び施工性の向上が図られている。																								
	次回以降の評価に対する視点と評価の必要性	活用調査及び活用効果評価を継続する技術としての選定要件にあてはまらないため継続調査は実施しない。よって、情報種別記号「-VE」とする。																								
	留意事項	・該当なし																								
	活用効果調査表における改良点及び要望	・該当なし																								
活用効果調査結果	対象工事	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>交通流動分析検討業務</td> <td>(従来技術 高所へのカメラ設置による撮影)</td> <td>施工者希望型(契約後提案)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>交通事故調査業務</td> <td>(従来技術 高所へのカメラ設置による撮影)</td> <td>施工者希望型(契約後提案)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>道路交通情勢調査業務</td> <td>(従来技術 高所へのカメラ設置による撮影)</td> <td>施工者希望型(契約後提案)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>繁忙期利用状況調査業務</td> <td>(従来技術 高所へのカメラ設置による撮影)</td> <td>施工者希望型(契約後提案)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>道路交通情勢調査業務</td> <td>(従来技術 高所へのカメラ設置による撮影)</td> <td>施工者希望型(契約後提案)</td> </tr> </table>					1	交通流動分析検討業務	(従来技術 高所へのカメラ設置による撮影)	施工者希望型(契約後提案)	2	交通事故調査業務	(従来技術 高所へのカメラ設置による撮影)	施工者希望型(契約後提案)	3	道路交通情勢調査業務	(従来技術 高所へのカメラ設置による撮影)	施工者希望型(契約後提案)	4	繁忙期利用状況調査業務	(従来技術 高所へのカメラ設置による撮影)	施工者希望型(契約後提案)	5	道路交通情勢調査業務	(従来技術 高所へのカメラ設置による撮影)	施工者希望型(契約後提案)
	1	交通流動分析検討業務	(従来技術 高所へのカメラ設置による撮影)	施工者希望型(契約後提案)																						
	2	交通事故調査業務	(従来技術 高所へのカメラ設置による撮影)	施工者希望型(契約後提案)																						
	3	道路交通情勢調査業務	(従来技術 高所へのカメラ設置による撮影)	施工者希望型(契約後提案)																						
	4	繁忙期利用状況調査業務	(従来技術 高所へのカメラ設置による撮影)	施工者希望型(契約後提案)																						
	5	道路交通情勢調査業務	(従来技術 高所へのカメラ設置による撮影)	施工者希望型(契約後提案)																						
	参考	<p>項目の平均(点)と従来技術(従来工法)の比較</p>																								
	項目	ケース番号および年度	1	2	3	4	5										項目の平均(点)	従来技術(従来工法)(点)								
	施工時評価	経済性	H27	H27	H27	H24	H23											B	C							
		工程	B	B	B	B	B											B	C							
品質・出来形		C	C	B	B	C											C	C								
安全性		B	A	A	A	B											B	C								
施工性		B	A	B	B	B											B	C								
環境		B	B	B	B	B											B	C								
その他																										
総合評価点	B	B	B	B	B											B										
今後、当該技術を活用出来る工事に活用したいか	今後是非活用したい	活用を検討したい	場合によっては活用することもある	技術の改良を強く望む	各項目における判定																					
	—	—	—	—	A	従来技術より極めて優れる																				
					B	従来技術より優れる																				
					C	従来技術と同等																				
					D	従来技術より劣る																				
追跡調査の必要性	不要																									
追跡調査	—																									